尾崎雅家

二條甲の法願の
見こ法同し拙は
甲は本楽節い
上もまま其後
見ぬ他に
他に見ぬ
法二條家いりこ
は如かまはれ
清る甲は
子まゝ子まゝ
門あし
其のせられ
由はんこ
日こ又
五里は
国の社
貝まは
ゆゑ

ごだしくさ
某頃こけり
今頃の
ゆゑ

ゆゑ
殊様も見
えよう

家猶妻
吾妹子も
古びよりな
前子
汁

三ら
まほ